

2025年度 第5回理事会 開催

2026年3月3日(火)、理事12名(定員13名)、監事1名が出席し、2025年度第5回理事会を仙台市内で開催しました。



当日は、「2026年度事業計画」および「2026年度収支予算」などが審議され、すべての議題が承認されました。また、「2025年度事業経過報告」などを行い、すべての報告事項が了承されました。



2026年度事業計画について

今回の理事会で承認された「2026年度事業計画書」および「2026年度収支予算書」は、当センターのホームページでご覧いただけます。

なお、事業計画の概要は、以下のとおりです。

<事業計画の作成にあたって>

東北圏における社会経済活動は、物価上昇や為替変動の影響、国際情勢の不確実性、地域を取り巻く環境の変化などの複合的な要因が相まって、先行きの不透明な状況が続いている。そのような状況下において、人口減少・少子高齢化・若者の圏外流出といった東北圏の構造的課題に対し、官民の各主体が連携し、持続的かつ長期的な視点で取り組んでいくことが求められている。

2025年度の調査研究事業では、「東北圏における外国人材の受入れと多文化共生」、「他分野との融合による農業ビジネスの可能性と課

題」、「地域における子ども・若者議会の展開と持続可能性」をテーマとした調査を行った。

実践的な活動であるプロジェクト支援事業では、東北圏の魅力溢れる企業や人物をSNSなども活用して発信する「東北・新潟のキラ☆(ぼし)企業」「キラ☆パーソン」、課題を抱える自治体・非営利団体を対象に当センターの知見を活かして支援する「地域活性化プロジェクト支援」を展開した。また、人財育成事業では、「女性の定着・活躍推進」として、東北圏が若い世代から選ばれ、女性が活躍する地域になるための方策を考えるフォーラムを開催した。加えて、東北圏の次代を担う小中高生に地元企業などへの関心を高めてもらう出前授業「TOHOKU わくわくスクール」を継続して実施した。

2026年度においても、「知をつなぎ、地を活かす」という当センターの活動理念の下、組織の特長である課題探求力やネットワークを活かし、さらなる価値創出を図っていく。その上で、2030年頃を想定した長期的な目標「暮らしを

支える経済基盤の上に、多様な人材が活躍する個性豊かな東北圏の実現」は維持しつつ、生活基盤を支える視点として「社会課題解決」、地域経済を支える視点として「産業活性化」の2軸を重点分野として設定した。これにより、事業の目的や成果を明確にし、自治体・企業・住民などの関係者との共有と連携を促進するとともに、限られた資源を戦略的に配分した効果的な事業展開につなげていく。

2026年度の個別事業のテーマについては、上記2分野におけるバランスと、先駆性・時代性・独自性を考慮して選定している。また、個別事業は調査研究から実践までのプロセスを意識するとともに、DE & I（ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン）の視点や、中長期の展望なども踏まえて取り組むこととしている。

＜主な事業＞

I. 公益目的事業

1. 調査研究事業

- (1) 東北圏における外国人材の受入・共生に関する調査
- (2) 東北圏におけるローカル・ゼブラ企業の現状と課題に関する調査
- (3) 東北データブックオンラインのデータ更新

2. プロジェクト支援事業

- (1) 東北・新潟の「キラ☆企業」情報発信事業
- (2) 東北・新潟の「キラ☆パーソン」
- (3) 地域活性化プロジェクト支援

3. 人財育成事業

- (1) TOHOKU わくわくスクール
- (2) 人口の社会減と女性の定着・女性活躍推進事業

4. 情報発信、情報や資料の収集および提供

- (1) 機関誌「東北活性研」等の発行
- (2) ホームページ等による情報提供

II. 収益事業等

1. 収益事業

- (1) 景気ウォッチャー調査（東北地域）
- (2) 地域共想プログラム

今後の主な予定

2026年 5月15日(金)	2026年度 第1回理事会	仙台市
2026年 6月 2日(火)	2026年度 定時評議員会 2026年度 第2回理事会(書面開催)	仙台市
2026年 8月25日(火)	2026年度 第3回理事会	仙台市
2026年10月27日(火)	2026年度 参与会	仙台市
2026年12月 1日(火)	2026年度 第4回理事会	仙台市
2027年 3月 2日(火)	2026年度 第5回理事会	仙台市